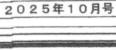
## 梅ヶ丘教会会報 日本基督教団

広報委員会 www.church.ne.jp/umegaoka/ 2025年 9月28日発行

〒155-0033

東京都世田谷区代田 3-37-7

TEL: 03-3414-5772 FAX: 03-3414-5778





人一人はその部分で あなたがたはキリストの体で コリントの信徒への手紙 あり、 12

ま

た、

章

27

節

あなたが必

要なわけ

牧師

広田

叔弘

えて、 どのように理解して信じるのかを学ぶ必要が ります。 る必要性を自覚します。 ろが再臨はなかなか来なかった。そこで教会 に書かれたと考えられています。 的に光を当てれば立体的に見ることが出来ま でしょう。 ありました。 に映し出すものだと言えるでしょう。 にも主の再臨があると信じていました。 つの角度から照らします。 イエスの言葉と業をまとめた文書が必要とな 物に正面から光を当てます。 7 4 マタイとル ただ再臨を待つのではなく、 教会の つの福音書は、ひとりのキリストを4 コ また試練や困難のある中、 による福音書が書 しかし、横から、 このようなそれぞれの必要に応 中に福音書が誕生しました。 カは 80年代。 伝道するためには、 主の御姿を立体的 カコ ヨハネは 後ろから、 れ 扁平に見える たの 教会は、 福音を伝え イエスを は 90 多角 とこ すぐ 年代 60 年

信仰をいただいています。 ることが出来ると思います。主を知りました。 し大胆ですが "私自身が福音書" 様々な失敗や挫折 と考え

> イがマタイの福音を語っていくように、 いる尊いお方です。 日々に刻まれたキリストは、 ちはひとりの主を信じていますが、 主の恵みを深く教えていただきました。 も経験しているとおりです。そしてこの中で、 人が与えられた福音を宿しているのです。 マルコがマルコの、 私だけが知って 人生の マタ

越えていく機会にしたいと思います。 をするのではありません。 な疑問や躓きになるところを共有して、 合います。また、 信仰の学びと交わりのときです。 ち合う -私の好きな聖書の 10 それぞれがいただいている恵みを分かち 月 19 日(日)の礼拝後には、 信仰生活の中で覚える素朴 発題者の発表を聞 お話しがあります。 難しいこと 恵みを分か 乗り

です。教会に集まる人々は多様です。 互いを生かす豊かさに変わります。 それぞれの多様性は愛と信仰の一致によって このようなわけで、 しかしそのあなたが他にはない恵みを宿して にないところをルカが語る有様に似ています。 ŋ マルコにないところをマタイが語り、 「私なんか・・・」と、思うことがあります。 冒頭 の主を照らし合って歩んで行きましょう。 なたにとって隣人が、 の言葉はパウロが示す教会理解の一 一人一人が小さな福音書なのです。 隣人にとってあなたが、 必要です。共にひと それは、 そして マタイ 節